

審 議 記 録

審議会等の名称	平成 30 年度 第 1 回富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会
庶務を担当する部課等	上下水道部 上下水道経営課
会議の開催の日時	平成 30 年 8 月 1 日 (水) 午前・午後 1 時 30 分
会議の開催の場所	富士市役所 10 階 全員協議会室
出席者 (職・氏名)	会長 小滝勝昭、副会長 藤川 格司、和泉清明、目黒輝久、渡邊榮一、田中富子、佐藤直美、遠藤卯美、竹下隆、前島義之
議題	諮問事項：富士市公共下水道事業の現状と課題、収支予測及び下水道使用料改定の検討について
配布資料 (件目)	<p><当日配布></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 1 回富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会次第 ・富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員名簿 ・座席表 ・第一次富士市公共下水道事業経営戦略プラン <p><事前配布></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士市公共下水道事業の現状と課題、収支予測及び下水道使用料改定の検討について
審議の状況	<p>会議の冒頭に、市長から富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会に対し、富士市公共下水道使用料改定について諮問を行った。その後、諮問事項について委員による審議を行った。</p>
審議の結果	<p>当局から本市の公共下水道事業の現状と課題、収支予測について説明を行った。委員からは後の管路の整備改良事業費に莫大な費用がかかることが予測されるが、人件費や物価が高騰している中で、値上げという選択肢もあり得るといった意見があった。</p> <p>一方では、総務省が示す 150 円の単価は目安であり、今後耐震事業などの必要な事業費を確保した上で十分健全な財政状況を保つ見込みがあるのであれば、市民への負担を考慮し値上げはしない方がいいのではとの意見も複数あった。</p> <p>公共下水道使用料は現状維持が妥当であるとの答申とするが、内容については会長に一任することになった。</p>
備考	